

日本列島 離島巡り

今回は、噴煙を吐く活火山の島、鹿児島県硫黄島を紹介합니다。

硫黄島は、鹿児島県本土の南端から南へ28kmの洋上に浮かぶ3つの島(硫黄島・竹島・黒島)からなる三島村に属しています。交通手段としては、鹿児島本港から三島村営定期船「みしま」に乗って約3時間(94km)の竹島経由となります。竹島から約30分(14km)、七色の海が美しい火の島です。



硫黄の匂いが漂うこの島は、もちろん温泉もあります。海岸のすぐそばにある東温泉露天風呂に浸れば、大海原を見ながら美肌効果を満喫できます。また、島内を歩いていると、野生のクジャクに遭遇することもあります。クジャクが生活できる自然が多く残っているのです。



硫黄島には、アジア初と言われる「みしまジャンベスクール」があります。ジャンベとは、アフリカのマリケ族が使用する伝統打楽器です。平成6年から始まった西アフリカの世界的ジャンベ奏者「ママディ・ケイタ」氏との交流をきっかけに、ジャンベは三島村を代表する音楽・楽器となりました。ジャンベスクールは平成16年に開設され、国内のみならず海外からも注目を集め、毎年夏に行うワークショップには、外国からも多数の方が参加しています。



硫黄島でおいしいものと言えば、もちろん新鮮な魚がありますが、三島村で採れる「大名竹の子」も有名です。島に自生する大名竹は希少性が高く、味の良さから珍重され、古くは大名が食べるものとされたため、この名がついたと言われています。

村内にあるタケノコ加工場の生産は、輸入タケノコの増加や採取に携わる住民の高齢化や人口の減少もあり一時期落ち込んでいましたが、平成12年からは輸入タケノコとの差別化を目的に青果品として首都圏への出荷を開始し、徐々に定着してきています。また三島村では「大名竹林オーナー制度」を立ち上げており、都市の住民が竹林の管理からタケノコの収穫までの一連の作業を楽しみながら行えます。

大名竹の子は4月から6月限定で採取されるので、存分に味わいたいのなら、このシーズン中に三島村を訪れることをお勧めします。



News Letter

'16 Spring. 春号

地名データベースなら 国土地理へ

Japan Geographic Data Center 公益財団法人 国土地理協会

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 http://www.kokudo.or.jp

マイナンバー制度、運用開始

平成27年10月から国民一人ひとりに送付された「通知カード」。平成28年1月から、まず、社会保障・税・災害対策の行政手続きでの利用がはじまっています。通知カードは「個人番号カード」ではありません。通知カードとともに送付された「個人番号カード交付申請書」により申請することにより、平成28年1月から、個人番号カードの交付を受けることができるようになっています。すでに交付を受けた方もいると思いますが、個人番号カードはプラスチック製のICチップ付きカードで、表面には氏名、住所、生年月日、性別、顔写真、臓器提供意思表示等が記載され、個人番号は裏面に記載されます。

このカードは本人確認のための身分証明書として利用できるほか、自治体サービス、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請等、様々なサービスに利用できます。



個人番号カード1枚でできること

- **個人番号を証明する書類として**
マイナンバー(個人番号)の提示が必要な様々な場面で、マイナンバー(個人番号)を証明する書類として利用できます。
- **各種行政手続きのオンライン申請**
平成29年1月から開始されるマイナポータル(情報提供等記録開示システム)では、各種社会保険料の支払金額や確定申告等を行う際に参考となる情報の入手等が行えるようになる予定です。また、引越しなどの際の官民横断的な手続きのワンストップ化や納税などの決裁をキャッシュレスで電子的に行うサービスも検討しています。
- **本人確認の際の公的な身分証明書**
マイナンバーの提示と本人確認が同時に必要な場面では、これ1枚で済む唯一のカードです。金融機関における口座開設・パスポートの新規発給など、様々な場面で活用できます。
- **各種民間のオンライン取引に**
オンラインバンキングをはじめ、各種の民間のオンライン取引に利用できるようになります。
- **様々なサービスを搭載した多目的カード(※)**
市区町村や国等が提供する様々なサービス毎に必要な複数のカードが個人番号カードと一体化できます。
- **コンビニなどで各種証明書を取得(※)**
コンビニなどで住民票、印鑑登録証明書などの公的な証明書を取得できます。
※市区町村によりサービスの内容が異なりますので、詳細はお住まいの市区町村にお問い合わせください。

●個人番号カードの申請方法については以下のとおりです。

郵送による申請

個人番号カードの交付申請書にご本人の顔写真を貼り、返信用封筒に入れて郵便ポストへ

パソコンによる申請

デジタルカメラで顔写真を撮影し、所定のフォームからオンラインで申請

スマートフォンによる申請

スマートフォンで顔写真を撮影し、所定のフォームからオンラインで申請

まちなかの写真機からの申請

申請書を持参して、申請可能な証明用写真機で顔写真を撮影して申請

「個人番号カード」の申請がまだの方は、検討してみるのはいかがでしょうか。
詳しくはhttp://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/を参照ください。

2015年の地名変更情報

平成の大合併と呼ばれた合併ブームも落ち着いて久しく、市町村単位の統廃合・名称変更等は発生しませんでした。昨年も全国で多くの地名変更が実施されました。地名変更が発生する時期というのは市町村議会の開催・運営状況次第であるのですが、2015年においては年度が変わる直前の1、2月と、8～11月にかけて多く発生しています。また、2015年に限らず例年同時期に地名変更が多く発生する傾向がみられます。

ひらがな・カタカナ地名の増加

平成の大合併期においては、短い期間中に「さいたま市」や「つくばみらい市」などのひらがな表記の市町村名が多く誕生し、『ユニークで覚えやすい』『威厳や歴史が損なわれる』などと賛否どちらの声も多く聞かれ、話題となりました。

しかし、実はこのようなひらがな・カタカナ地名は大合併ブームの中で誕生したものではなく、町村部では1955年に誕生した和歌山県の「すさみ町」、市部では1960年に誕生した青森県の「むつ市」がそれぞれ最古のひらがな市町村名となり、大合併以前からひらがな市町村名は存在していたのです。

現在では、各市町村内で行なわれる区画整理や住居表示により、ひらがな・カタカナ表記の町名・大字地名が増加しています。2015年では埼玉県三郷市の「インター南」「ピアラシティ」、石川県金沢市の「田上さくら」、岐阜県美濃加茂市の「あじさいヶ丘」、奈良県香芝市の「すみれ野」、島根県益田市の「かもしま北・西・東町」、福岡県小郡市の「あすみ」や筑紫野市の「むさしヶ丘」などが新設されました。

ひらがな・カタカナ地名を採用する理由はいくつか考えられます。1つ目はその土地にあるランドマークをそのまま地名の一部として採用する場合です。昨年の新設地名では「インター南」や「ピアラシティ」が該当しているようです。2つ目はひらがなの『柔らかく親しみやすい』印象を込めて命名する場合です。「すみれ野」や「あじさいヶ丘」は各市の市花、「田上さくら」は兼六園など桜の名所から近い地域であることも由来となっているのでしょう。「かもしま北・西・東」は伝承に残る鴨島という島名、「むさしヶ丘」は旧来ある武蔵という地名をひらがな表記にすることにより親しみ覚えやすくしたものとされます。また、「あすみ」は「明日が見える、美しいまち」という住民のメッセージを込めた地名が採用されたそうです。

これらの他にも「難読・誤読の解消」を目的とする場合もあります。茨城県にある「つくば市」では、名称を「筑波市」とした場合「筑前国」「筑後国」のように「ちくば市」と誤読されることを懸念してひらがな表記が推進されたと言われています。

ひらがな・カタカナ地名ランキング

最後に、弊会の地名データベース『全国町・字ファイル』最新収録地名からひらがな・カタカナ地名で多用されているキーワードを抽出、独自の集計結果としてランキング形式で発表します。

| 順位 | キーワード | 市町村数 |
|----|-------|-------|
| 1位 | みどり | 27市町村 |
| 2位 | つつじ | 22市町村 |
| 3位 | さつき | 21市町村 |
| 4位 | あけぼの | 18市町村 |
| 5位 | ひばり | 17市町村 |

現在の状況では、左表のとおり「みどり」という言葉を用いた地名、「みどりが丘」や「みどり野」などが多く見られます。今後もひらがな・カタカナ地名は増加してゆくと考えられますが、弊会ホームページでは全国の新設地名情報を毎月更新・公開しておりますので、ぜひご覧下さい。また、ご不明点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

地図地理クイズ！



「今回は、第23回地図地理検定の専門問題からの出題です。」

問 下の画像は、2013年にNASAが公開した、ヨーロッパのある都市の、夜の様子を写した人工衛星画像である。この都市はどこか。光の色の分布などの特徴を考慮し、下の①～④のうちから1つ選べ。なお、画像は右が北である。



(出典URL: <http://eol.jsc.nasa.gov/SearchPhotos/photo.pl?mission=ISS035&roll=E&frame=17210>)

- ①ベルリン ②パリ ③ロンドン ④ヘルシンキ

このクイズは、第23回地図地理検定の専門問題からの出題です。下の画像は、2013年にNASAが公開した、ヨーロッパのある都市の、夜の様子を写した人工衛星画像である。この都市はどこか。光の色の分布などの特徴を考慮し、下の①～④のうちから1つ選べ。なお、画像は右が北である。

①ベルリン ②パリ ③ロンドン ④ヘルシンキ

正解は②パリです。画像はパリの夜景を示しています。中央の明るい部分はエッフェル塔の光です。また、画像の右側（北）には、パリの主要な道路や公園の光の分布が確認できます。

第25回 地図地理検定のご案内

- (1) 試験日 : 2016(平成28)年6月19日(日)
- (2) 試験時間/問題数
 地図地理検定(一般) : 13:30~14:20・4択形式25問・100点満点
 地図地理検定(専門) : 15:00~16:00・4択形式25問50点、記述式10問程度・50点、100点満点
- (3) 実施都市及び会場 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受験資格 どなたでも受験できます。年齢等、一切の制限はございません。



地図地理検定

受験料

リピーター割引、学生・生徒割引、併願割引があります。

| | 地図地理検定(一般) | 地図地理検定(専門) | 一般・専門の併願 |
|--------------|------------|------------|----------|
| 基本受験料 | 3,000円 | 4,000円 | 5,000円 |
| リピーター割* 学割** | 2,000円 | 3,000円 | 4,000円 |

*1 リピーター割は、第23回または第24回を受検された方。
 *2 検定当日に、大学生・高校生は学生証や生徒手帳をご持参ください。
 *3 団体申込特典があります。詳しくは地図地理検定ホームページをご覧ください。